笠松町120年の

木曽川の流れと共に



笠松町長 広 江 正 明

笠松町は平成21年7月、町生誕120年の節目 を迎えました。

先人たちが今まで笠松町発展のために苦難 に耐えながら築き上げた偉業に感謝するとともに、 未来への礎となるまちづくり創造の年と位置づけ て、「木曽川の流れと共に 未来へ続け!笠松町」 のスローガンのもと、各種の記念事業を展開して おり、11月1日には「笠松町生誕120年記念式典」 を開催します。



緑豊かな笠松みなと公園

この120年 記念事業をき っかけとして、 町民の皆さん に改めて町の 歴史を振り返 っていただくと ともに、活気あ

る未来の笠松町について考えていただき、皆さん とともに新しいまちづくりを進め、笠松町の豊かな 自然や人々に育まれてきた文化や伝統を町内外 へ発信していきたいと考えています。

また、次世代を担う子 どもたちをはじめ、全町 民の皆さんを対象に、社 会に貢献しようとする精 神を育み、道徳心やマ ナー、ルールを大切にす る心温まる風土、人づく りを推進し、「道徳のまち 笠松 |を目指し、次世代 に継承されていくことを 願っています。



大名行列お奴(県重要無形民俗文化財

明治

24年

30年

町村制施行(笠 22年 松町誕生)

> ・濃尾大震災が おこる

・円城寺村・中野 濃尾大震災で焼け野原となった下新町 村・無動寺村・江川村及び米野村が合併し「下 羽栗村 | が誕生

・田代村・長池村・北及村及び門間村が合併 し「松枝村」が誕生

39年 ・笠松町役場庁舎を県町から現在地に移転改築 ・木曽川橋が架設される 43年

大正

3年 ・美濃電気軌道により、新岐阜~笠松間に鉄 道開通

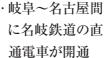
9年 ·第1回国勢調査実施(笠松町5.689人、松枝 村2.433人、下羽栗村2.201人 計10.323人)

·郡役所廃止 15年

> ·県立第一工業高校(現県立岐阜工業高等 学校)の授業開始

昭和

4年 ・天皇陛下即位を 記念し、役場庁 舎を建築・完成





昭和4年頃の笠松町役場

9年 · 笠松競馬場設置

13年 |・新町箕浦方に隕石が落下

16年 - 太平洋戦争が勃発

18年 一・戦争の影響により、笠松競馬が中止となる

20年 · 終戦

·第1回公営競馬開催 22年

・新学制施行(6・3制)により、笠松中学校開校

・上羽栗村と下羽栗村で「組合立羽栗中学校」 開校

・松枝村と柳津村で「組合立蘇西中学校 | 開校

|・「笠松女子職業学園」開設(昭和24年に「笠 23年 松刑務所 と改称)

· 「公民館」設置

25年 ・松枝村と合併